## 令和4年度 施設分析シート

I施設の概要				施設コード 809-01-01					
	施設名	荒川区役所:	北庁舎(管理	里事務費)					
	所在地	荒川二丁目11番1号							
	部課名	健康部生活衛生課							
施設の履歴		時期 建築費		財源内容(単位:千円)					
	7-1- 6-4-	T-410-	(単位:千円)	国・都	区債	一般財源			
	建築	平成18年	256, 617						
	増改築①	平成26年	185, 115						
	増改築②								
併設施設									
竣	建工年月日	平成18年	F12月1日		区職員	その他			
供用	開始年月日	平成18年	F12月1日	職員数	3				
横造 鉄骨造 階層 地上						-3階			
面積		敷地	!面積	1, 409. 78 m <sup>2</sup>					
		延床	面積	2, 616. 79 <b>m</b>					
設置目的・経緯		がんセンターと保健所の機能を統合強化するために設置、2							
		- 3階については防災都市づくり部が使用。							
	関連部署	生活衛生課、保健予防課							
根	视法令等	令等							
Ī	設置条例								
駐	車場の状況	約11台 /	バリアフリー	● エレベーク	ÿ— <b>●</b> ト⁄	イレ			
駐車	輪場の状況	約70台	対応状況	● 点字ブロッ	ック 〇 スロ	ロープ			



	Ⅱ管理道	軍営の状況	2									
	管理	<b>L</b> 形態	直営		_	期間			から まで			
	事業	其内容	北庁舎運営及び	· 「管理維持等						180		
I	対	象者	一般区民他									
I	11111111111111111111111111111111111111	時間等	運営時間	午前8時30分~午後5時								
l	(连白)	म्ग्।म। <del>ग</del>	休日									
ı				平成30年度	令和元年度	令	和2年度	令和3年度	令和4年度(			
ı	施	開庁日数		244	240		243	242		243		
	設											
ı	基	<b>.</b>		055 540	050 757		070 574	070 005		074 770		
ı	設 基 本 電力使用量 デ ガス使用量 水道使用量			255, 543	252, 757		276, 571	272, 985		274, 778		
				2, 339	2, 234		0 410	2 400		2 456		
ı				121	2, 234 118		2, 413 129	2, 498 125		2, 456 127		
ı	等でか排出量(L)			58, 185	55, 620		78, 840	70, 785		74, 813		
ı	٠,	Солян	里 (L)	30, 103	33, 020		70, 040	70, 700		74, 010		
ł	に指											
	用係定											
	等る管											
ı	費理											
	備											

給与関係費	額 0 0 0 106 ▲ 90 16 4,506
物件費	<b>▲</b> 90
# 持補修費 1,862 3,875 2,013 行政	<b>▲</b> 90
では、	<b>▲</b> 90
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	<b>▲</b> 90
大き   大き   大き   大き   大き   大き   大き   大き	<b>▲</b> 90
下計算書	16
賞与・退職給与引当金繰入額   559   819   260 行政収支差額(a) −(b) = (c)	16 4, 506
算書	4, 506
書	0
<ul> <li>行政費用合計(b)</li> <li>39,026</li> <li>43,548</li> <li>4,522</li> <li>通常収支差額(c)+(d)=(e)</li> <li>▲ 37,331</li> <li>▲ 41,837</li> <li>▲ 特別収入(f)</li> <li>切りりの</li> <li>特別収支差額(f)-(g)=(h)</li> <li>勘定科目</li> <li>R2年度</li> <li>R3年度</li> <li>基額</li> <li>一次表方</li> <li>一次の他の流動資産</li> <li>日本の他の流動資産</li> <li>日本の他の流動資産</li> <li>日本の他の流動資産</li> <li>日本の他の流動資産</li> <li>日本の他の流動資産</li> <li>日本の世の経済</li> <li>日本の日本の経済</li> <li>日本の日本の日本の経済</li> <li>日本の日本の経済</li> <li>日本の日本の日本の経済</li> <li>日本の日本の経済</li> <li>日本の日本の経済</li> <li>日本の日本の日本の経済</li> <li>日本の日本の日本の経済</li> <li>日本の日本の日本の日本の日本の日本の経済</li> <li>日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日</li></ul>	V
特別収支差額(f)-(g)=(h) 0 0 9 当期収支差額(e)+(h) ▲ 37,331 ▲ 41,837 ▲ 勘定科目 R2年度 R3年度 差額 勘定科目 R2年度 R3年度 差額 本41,837 ▲	4, 506
勘定科目     R2年度     R3年度     差額     勘定科目     R2年度     R3年度     表       流域     収入未済     0     0     0     流動負債     237     295       本の他の流動資産     0     0     0     0     では、またままままままままままままままままままままままままままままままままままま	0
流     収入未済     0     0     0     流動負債     237     295       動資     不納欠損引当金     0     0     0     環付未済金     0     0       企     その他の流動資産     0     0     0     特別区債     0     0       本形国字資産     1,237,401     1,200,621     53,220     第月日半全     237     205	4, 506
歌     不納欠損引当金     0	:額
資     ・ 所入損引当並     0     0     0     1     20     1     20     1     20     62     1     20     62     1     20     62     1     20     62     1     20     62     1     20     62     1     20     62     1     20<	58
<b>                                    </b>	0
有形固定資産	0
	58
<sup>貝</sup>   土地	0
計   日   注初	936
図   図   図   図   図   図   図   図   図   図	0
照 定	936
	0
	994
建設仮勘定 5,005 0 ▲ 5,005 正味財産 1,239,650 1,286,871	17, 221
その他の固定資産	17, 221
資産の部合計 1, 242, 406 1, 290, 621 48, 215 負債及び正味財産の部合計 1, 242, 406 1, 290, 621	18, 215
物件費に占める割合は委託料が58.3%(うち清掃費が78.0%)、光熱水費が35.5%(うち電気料金が75.6%)となっている。	。そ!
<sub>妻</sub>   の他の11以収入は、日 <b>期</b> 級元儀設直に出り元款小負、外郭凶体の施設 <sup>─</sup>	
5   貸借対照表の有形固定資産・建物の増は、非常用発電設備設置によるものである。	

	指標	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)		
	有形固定資産減価償却率(%)	13		18				
財	1㎡当たりコスト(円)	16, 346		14, 914				
財務指	区民1人当たりコスト(円)	201	174	180	204			
標								
17.5								
評価指								
神								
標等								
<del>11</del>								
備考	コスト面は平成30年度以降大きな変動は見られない。 							

IV 施設運営の方向性	(所僧	の考え	方)						
計画の有無		無	O 有	(計画名:					)
		指標名	・単位		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
目標指標				目標値					
				実績値	<u> </u>	<u> </u>		<u>.</u>	<u> </u>
施設運営の方向性	0	転用· 現状線		O 民営 O その		他施設との	統合	〇 廃止	)
管理形態の変更の推移	0•	有無	(変更内容:						)
利用者・地域のニーズ									
現状・課題	〇個別空調機は、機能低下や異音の発生など、少しずつ不具合が生じ、部品の交換やオーバーホールが必要となってきている。 〇建築から15年以上が経過し、外壁及び屋上防水に劣化が見られるため、改修工事が必要である。								
課題に対する 現時点での考え			こ使用するこ 管理を行う。	とが想定され	れるため、荒	川区公共施設	<b>等総合管理</b> i	計画に基づき	、施設の適
議会、利用者等 からの意見									